

- 1 NIMS 殿の MatNavi の CPDDB にログインする。
Computational Phase Diagram DataBase
- 2 周期律表の下にある「Unary systems and Vacancy」ボタンを押す。
- 3 Unary 用周期律表の画面になる。
Unary 用周期律表の「Fe」をクリック。
- 4 純元素 Fe の画面になる。
画面最下段にある「Diffusion」をクリック。
- 5 Fe mobility data 画面になる。

注 1) Fe の実験データは、文献 1992Jon, 1994Jon, 1995Jon を参照すること。

注 2) 拡散データ（パラメータ）は、DDB もしくは MOB にある。これはテキストファイル。

元素 Fe の自己拡散データを探す NIMS-Kakusan の操作 メモ

- K-1 NIMS 殿の MatNavi の Kakusan にログインする。
- K-2 周期律表の「Fe」をクリック。
- K-3 3 段目にある「Diffusing Elements」のプルダウンメニューから「Fe」を選択する。
- K-4 緑色の「Search」ボタンを押す。
- K-5 622 個のデータが表示される。
- K-6 純元素 Fe の自己拡散データのみを抽出するために、
List of Diffusion Data 表の左端の列の先頭のチェックボックスを外す。
全てのデータの図表示がクリアされる。
- K-7 「Chemical system」列、「Composition」列、「Diffusing Element」列が Fe の行を探し、
その行にチェックを入れる。
具体的には、Index No. 30
153
154
421
422
の 5 行を選択する。
- K-8 すると、画面先頭の図には、5 本の線のみが表示される。

注 3) 422 行目をクリックすると、このデータの文献情報が表示される。 $D = D_0 \exp \{ -Q/RT \}$
注 4) 使い方の詳細は、画面上の Help [Japanese] をクリックすると表示される。